

## 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2020年3月27日作成 第 1.0 版

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 研究課題名                    | 日本における急性心筋梗塞患者の治療および予後の実態調査(JAMIR 後ろ向き研究)  |
| 研究の対象                    | 2011年1月1日から2016年12月31日に自然発症した急性心筋梗塞患者さん。Universal definition もしくは MONICA criteria を満たすものを対象とし、年齢性別は問いません。  |
| 研究目的<br>・方法              | 日本における急性心筋梗塞患者の登録研究（JAMIR 研究）は日本最大の急性心筋梗塞患者の登録研究であり、日本の急性心筋梗塞診療における現状及び問題点を明らかにすることを目的にしています。<br>各施設にて対象の患者さんにおける以下のデータを収集し、統合、解析を行います。  |
| 研究期間                     | 西暦 2016年3月4日～ 西暦 2023年12月31日   |
| 研究に用いる<br>試料・情報の<br>種類   | 患者背景：<br>年齢・性別・搬送手段（独歩、救急車）入院（病院到着）日時、STEMI or NSTEMI Killip 分類、高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙<br>再灌流療法に関連した項目：<br>緊急 CAG の有無、病変部位、再灌流療法の有無（PCI、血栓溶解療法の有無）、再灌流日時、Door to device time、最終造影の TIMI 分類、IABP 使用の有無、PCPS 使用の有無、CABG の有無  |
| 外部への<br>試料・情報の<br>提供     | 上記情報を、個人と特定できないように匿名化したうえで国立循環器センター内にあるデータセンターに送られ保管されます。保管される際は、国立循環器病研究センターの規定に基づき論文発表後 10 年間厳重に保管いたします。<br>また、横浜市立大学市民総合医療センター 高度救命救急センターでは、本研究に関する文書および記録は、電子媒体で保管する場合は、パスワードを設定した電子ファイルでインターネットに接続できないパソコンで保存をします。本研究の終了日から 5 年後又は本研究の結果の最終の公表について報告した日から 3 年後のいずれかの遅い日までの期間、厳重に管理をします。<br>また、保存期間終了後に廃棄する際は、パソコン上で保存している情報については保存しているパソコン端末等から完全な削除を行い、紙で保管している情報はシュレッダーにて廃棄します。 |
| 外部からの<br>試料・情報の<br>取得と保管 | 外部からの試料・情報の取得はありません。   |

## 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

|  |  |
|--|--|
| <b>研究組織</b>  | 主任研究者：国立循環器病研究センター・副院長、心臓血管内科部門部門長 安田 聡<br>データセンター：国立循環器病研究センター研究基盤センター予防医学・疫学情報部<br>研究参加機関：横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター 他 18 施設 |
| <p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p> |  |
| <p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57</p> <p>横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター（研究責任者）桐ヶ谷 仁</p> <p>電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-9913</p> <p>主任研究者：国立循環器病研究センター・副院長、心臓血管内科部門 部門長 安田 聡</p>  |  |